

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	インドネシア国
2. 案件名	インドネシア国 国立職業訓練校自動車整備科インストラクターの養成および評価・育成システム構築プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>同国ではモータリゼーションの急速な進展（過去 15 年間で 6 倍増）に伴い、自動車整備を担う高度専門技術を有する人材育成が喫緊の課題となっている。しかし、最新型の自動車が多く流通する中、これら自動車の整備は主に同国に進出している海外メーカー直営工場にて行われており、地方部では十分な整備が行われず、交通事故増加などの影響が出ている。かかる背景の下、自動車整備士のニーズは高まっているものの、職業訓練校では、海外メーカー自動車の整備に対応できる適切なカリキュラムがなく、またインストラクターも育成されていない。</p> <p>先行プロジェクトとして実施した草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）「南スラウェシ州バンタエン県バンタエン職業訓練校における自動車整備士指導者養成プロジェクト」では、これら状況に対応するため、バンタエン職業訓練校において 2 年間の自動車整備士育成コースを創設したが、その成果を全国展開するよう、同国労働省から継続支援の要請があったもの。</p>
4. プロジェクト目標	このプロジェクトの実施により新たに創られる自動車整備科コースを指導できる国立職業訓練校自動車整備科インストラクターが養成されるとともに、インストラクターの能力開発と訓練活動の充実を図り、新たな訓練カリキュラムが開発される。
5. 対象地域	インドネシア国
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	インドネシア労働省が運営する職業訓練校自動車整備科において指導するインストラクターおよびインストラクター候補生
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> フェーズ 1 プロジェクトでバンタエン国立職業訓練校の自動車整備科コースを修了したインストラクターによって自律的に運営される 新しく開発される自動車整備科コースを指導するためのインストラクターが新たに養成される インストラクターの能力開発と訓練活動の充実を図り、新たな訓練カリキュラムが開発される <p>(活動)</p> <p>1-1: フェーズ 1 プロジェクトで自動車整備科コースを修了した 1 期生インストラクターによる自動車整備科コース 2 期生の訓練の実施</p> <p>1-2: フェーズ 1 プロジェクトで実施された自動車整備科コースのカリキュラムの見直しとカイゼン</p> <p>2-1: 愛媛トヨタトレーニングセンター等で選抜インストラクターの日本研修を実施する</p> <p>2-2: インストラクター候補生の技術・知識、指導能力、カリキュラム作成能力に関する研修・評価を実施する</p> <p>3-1: インドネシアの自動車産業界が求める技術水準を学べる職業訓練を開発するため、インストラクターの基礎技術の能力開発を行う</p> <p>3-2: 日本研修参加者が中心になり、インストラクターになるための基礎教育をカイゼンする</p> <p>3-3: 日本研修参加者が中心になり、インドネシアの自動車整備訓練の標準カリキュラムを開発する</p>
8. 実施期間	2019 年 8 月 16 日～2024 年 2 月 9 日（4 年 6 か月）
9. 事業費概算額	59,955,500 円
10. 現地カウンターパート	インドネシア国労働省 訓練・生産性開発局 バンタエン県職業訓練校及び労働省が管轄する職業訓練校
II. 実施団体の概要	
1. 提案地方公共団体名 ／団体名	愛媛トヨタ自動車株式会社
2. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア人留学生のインターンシップ受け入れをきっかけに支援開始。 JICA 草の根技術協力 (2016-2018) を始め、中古緊急車両寄贈 (累計 214 台) や、現地トヨタディーラーとの技術交流を 2010 年より継続している。 他にも団体は地域の小学校での出前授業やタイ北部への物資支援等、他の社会貢献活動も精力的に行っている。